



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 不二製油株式会社

上場取引所

東・大

コード番号 2607

URL <http://www.fujioil.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 海老原 善隆

問合せ先責任者 (役職名) IR広報部長 (氏名) 隈部 博史 (TEL) 072-463-1035

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	175,133	△3.1	11,088	7.1	10,857	6.6	6,595	0.6
24年3月期第3四半期	180,649	8.1	10,349	△23.9	10,186	△23.3	6,558	△24.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 7,420百万円 (58.8%) 24年3月期第3四半期 4,671百万円 (△18.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	76.72	—
24年3月期第3四半期	76.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	186,275	114,619	58.3	1,263.98
24年3月期	183,862	109,464	56.4	1,205.49

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 108,651百万円 24年3月期 103,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	12.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	236,600	0.0	14,100	8.6	13,900	6.8	8,400	1.3	97.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	87,569,383株	24年3月期	87,569,383株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,608,961株	24年3月期	1,608,883株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	85,960,487株	24年3月期3Q	85,960,565株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年5月8日発表の連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。
2. 上記業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

(参考) 個別業績の概要

平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	139,500	△2.2	11,300	9.3	7,400	16.1	86.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年5月8日発表の個別業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。
2. 上記業績予想につきましては、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気動向・企業収益はゆるやかな回復の兆しが見られ、期後半には円安・株価の上昇も進みましたが、デフレ・貿易収支の悪化・雇用環境の低迷等厳しい経済情勢が続きました。また海外では、欧州の金融・財政不安の長期化や中国を始めとする新興国の経済成長の鈍化が見られ、国内外で不透明な経済情勢が続きました。

当社グループを取り巻く食品業界でも、消費者の節約志向・低価格志向は依然強く、厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループは新中期経営計画「Global & Quality 2013」を掲げ、「グローバル経営の推進」「技術経営の推進」「サステナブル経営の推進」を方針として、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給、生産コストの削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は1,751億33百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は110億88百万円（前年同期比7.1%増）、経常利益は108億57百万円（前年同期比6.6%増）、四半期純利益は65億95百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、ヤシ油・パーム油等の主要原料相場下落による販売価格低下により、部門全体の売上高は減収となりました。ヤシ油・パーム油・調合油は採算維持に努めましたが、チョコレート用油脂は、ココアバター相場下落の影響を受け採算が悪化して、減収・減益となりました。

海外では、チョコレート用油脂は、欧米・中国での販売数量減に加えて、国内同様に採算が悪化して、減収・減益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は678億9百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益（営業利益）は26億40百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、業務用チョコレートは、スイートチョコの販売が増加しましたが、アイスコーティングチョコ・洋生チョコが減少して、減収となりました。クリームは、オーム乳業株式会社の株式取得による連結子会社化で増収となり、マーガリン・フィリングはパン用の販売が増加して、増収となりました。素材輸入では、バター調製品の販売が増加しましたが、粉乳調製品・ココア調製品が減少し、減収となりました。同部門の国内全体は、増収・増益となりました。

海外では、業務用チョコレート・クリーム・マーガリン・ショートニングの東南アジア・中国での販売が好調に推移して、増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は790億66百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益（営業利益）は70億80百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、水産市場向けが増加しましたが、健康食品・発酵培地用途が減少して、減収となりました。

大豆たん白機能剤は、輸出・米飯用途が減少しましたが、発酵培地用途が増加して、増収となりました。

大豆たん白食品は、即席麺用途が減少しましたが、弁当給食市場向け及び海外が増加して、増収となりました。

以上の結果、当部門の売上高は282億56百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益（営業利益）は13億66百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ24億13百万円増加し、1,862億75百万円となりました。

主な資産の変動は、売上債権の増加65億23百万円、現金及び預金の減少20億77百万円、有形固定資産の減少13億34百万円であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ17億81百万円減少し、359億39百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当20億63百万円と四半期純利益65億95百万円等により利益剰余金の増加45億37百万円、その他の包括利益累計額の増加4億91百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は58.3%、1株当たり純資産は1,263円98銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ20億34百万円減少、前第3四半期連結累計期間末に比べ14億23百万円増加し、101億97百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で25億11百万円増加し、70億62百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益105億74百万円、減価償却費62億83百万円等による収入が、売上債権の増加額64億93百万円、法人税等の支払額37億25百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で1億52百万円支出が増加し、50億2百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出43億92百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で66億11百万円減少し、41億75百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純増加額2億68百万円、長期借入れによる収入16億60百万円、長期借入金の返済による支出38億66百万円、配当金の支払額20億63百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月8日発表の業績予想を下記の通り修正いたします。

平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	248,500	15,500	15,000	9,300	108.19
今回発表予想（B）	236,600	14,100	13,900	8,400	97.72
増減額（B－A）	△11,900	△1,400	△1,100	△900	—
増減率（%）	△4.8	△9.0	△7.3	△9.7	—
（ご参考）前期実績 （平成24年3月期）	236,594	12,983	13,017	8,290	96.44

通期の業績につきましては、消費者の節約志向・低価格志向が依然強く、厳しい事業環境が継続するものと予想されます。

このような状況下、コストダウンや販売価格改定等を推進しておりますが、ココアバター相場下落によるチョコレート用油脂の採算悪化、海外品との競合激化や原材料コストの上昇による大豆たん白素材の採算悪化により、売上高、利益ともに前回予想を下回る見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,403	10,326
受取手形及び売掛金	46,350	52,873
商品及び製品	17,793	18,490
原材料及び貯蔵品	17,036	16,089
繰延税金資産	958	466
その他	3,470	3,247
貸倒引当金	△99	△104
流動資産合計	97,913	101,388
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,583	28,597
機械装置及び運搬具（純額）	26,186	26,062
土地	15,932	15,901
建設仮勘定	875	817
その他（純額）	1,343	1,209
有形固定資産合計	73,921	72,587
無形固定資産	1,544	1,531
投資その他の資産		
投資有価証券	8,671	8,903
繰延税金資産	63	154
その他	1,979	1,941
貸倒引当金	△232	△231
投資その他の資産合計	10,483	10,768
固定資産合計	85,948	84,886
資産合計	183,862	186,275

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,394	22,017
短期借入金	13,598	14,032
1年内償還予定の社債	20	20
1年内返済予定の長期借入金	4,383	1,340
未払法人税等	2,100	1,776
賞与引当金	1,692	975
役員賞与引当金	85	—
その他	6,824	6,997
流動負債合計	51,099	47,158
固定負債		
社債	5,040	5,030
長期借入金	14,678	15,516
繰延税金負債	727	903
退職給付引当金	1,985	2,167
役員退職慰労引当金	467	50
債務保証損失引当金	—	18
その他	399	811
固定負債合計	23,299	24,497
負債合計	74,398	71,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,324	18,324
利益剰余金	82,627	87,164
自己株式	△1,746	△1,746
株主資本合計	112,414	116,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,359	1,481
繰延ヘッジ損益	290	689
為替換算調整勘定	△10,440	△10,469
その他の包括利益累計額合計	△8,790	△8,299
少数株主持分	5,839	5,967
純資産合計	109,464	114,619
負債純資産合計	183,862	186,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	180,649	175,133
売上原価	148,660	141,669
売上総利益	31,989	33,463
販売費及び一般管理費	21,640	22,375
営業利益	10,349	11,088
営業外収益		
受取配当金	166	194
その他	307	196
営業外収益合計	474	390
営業外費用		
支払利息	479	383
その他	157	238
営業外費用合計	636	621
経常利益	10,186	10,857
特別利益		
投資有価証券売却益	—	141
特別利益合計	—	141
特別損失		
固定資産処分損	127	45
減損損失	—	344
関係会社事業再構築損失	—	33
投資有価証券評価損	55	—
災害による損失	32	—
特別損失合計	215	423
税金等調整前四半期純利益	9,971	10,574
法人税、住民税及び事業税	2,724	3,436
法人税等調整額	419	261
法人税等合計	3,143	3,698
少数株主損益調整前四半期純利益	6,827	6,875
少数株主利益	268	280
四半期純利益	6,558	6,595

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,827	6,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	121
繰延ヘッジ損益	△230	399
為替換算調整勘定	△1,833	30
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	△6
その他の包括利益合計	△2,155	544
四半期包括利益	4,671	7,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,658	7,126
少数株主に係る四半期包括利益	13	293

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,971	10,574
減価償却費	6,594	6,283
退職給付引当金の増減額(△は減少)	129	184
受取利息及び受取配当金	△193	△224
支払利息	479	383
減損損失	—	344
売上債権の増減額(△は増加)	△12,101	△6,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	159	295
仕入債務の増減額(△は減少)	3,617	△136
その他	277	△258
小計	8,934	10,953
利息及び配当金の受取額	193	223
利息の支払額	△446	△388
法人税等の支払額	△4,130	△3,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,551	7,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,536	△4,392
連結子会社の出資持分売却による収入	—	753
連結子会社株式取得による支出	—	△900
関連会社株式取得による支出	—	△382
その他	△313	△81
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,850	△5,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,340	268
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	2,000	—
長期借入れによる収入	2,928	1,660
長期借入金の返済による支出	△1,692	△3,866
社債の償還による支出	△10	△10
配当金の支払額	△2,063	△2,063
その他	△66	△164
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,436	△4,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	△201	△31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,936	△2,147
現金及び現金同等物の期首残高	6,842	12,231
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	112
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△4	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,774	10,197

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	76,130	76,700	27,818	180,649	—	180,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,475	103	518	10,096	△10,096	—
計	85,605	76,803	28,337	190,746	△10,096	180,649
セグメント利益	3,159	5,451	1,738	10,349	—	10,349

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	126,824	27,932	13,985	11,908	180,649	—	180,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	27,588	580	23	28,262	△28,262	—
計	126,894	55,520	14,565	11,931	208,912	△28,262	180,649
セグメント利益	8,347	1,142	421	282	10,192	156	10,349

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア:シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ
米州:米国
欧州:ベルギー

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,809	79,066	28,256	175,133	—	175,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,281	345	379	9,006	△9,006	—
計	76,090	79,412	28,636	184,139	△9,006	175,133
セグメント利益	2,640	7,080	1,366	11,088	—	11,088

(注) 1 セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方と比べて、セグメント損益に与える影響は軽微であります。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位: 百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客に対する売上高	124,467	28,710	12,175	9,780	175,133	—	175,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53	24,350	510	14	24,929	△24,929	—
計	124,521	53,060	12,685	9,794	200,062	△24,929	175,133
セグメント利益	9,159	1,664	52	365	11,242	△154	11,088

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア: シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア、タイ
米州: 米国
欧州: ベルギー

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成25年3月期 第3四半期 決算補足資料

二つとない、をつくる。



1

目次

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 連結 第3四半期業績 | 2. 連結 通期予想 |
| (1) 連結 損益概要 | (1) 連結 通期予想 |
| (2) 連結 油脂部門損益 | (2) 連結 セグメント別通期予想 |
| (3) 連結 製菓・製パン素材部門損益 | (3) 連結 地域別通期予想 |
| (4) 連結 大豆たん白部門損益 | 3. 単体 第3四半期業績・通期予想 |
| (5) 連結 地域別損益 | |
| (6) 連結 四半期別営業利益推移 | |
| (7) 連結 貸借対照表 | |
| (8) 連結 キャッシュ・フロー | |
| (9) 連結 指標 | |

※1：本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。

※2：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

1－(1) 連結 損益概要

(単位:億円)

		11年度 第3四半期	12年度 第3四半期	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	761	678	▲83	▲10.9%
	製菓・製パン素材	767	791	+24	+3.1%
	大豆たん白	278	283	+4	+1.6%
	合計	1,806	1,751	▲55	▲3.1%
営業利益	油脂	32	26	▲5	▲16.4%
	製菓・製パン素材	55	71	+16	+29.9%
	大豆たん白	17	14	▲4	▲21.4%
	合計	103	111	+7	+7.1%
営業利益率		5.7%	6.3%	+0.6p	—
経常利益		102	109	+7	+6.6%
四半期純利益		66	66	+0	+0.6%
四半期包括利益		47	74	+27	+58.8%

3

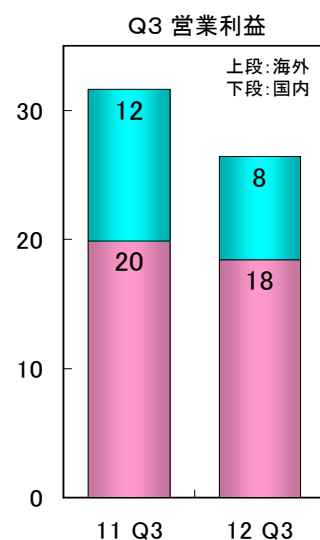
1－(2) 連結 油脂部門損益

(単位:億円)

	11年度 Q3	12年度 Q3	対前期	
			増減額	増減率
売上高	761	678	▲83	▲10.9%
営業利益	32	26	▲5	▲16.4%

【業績サマリー】

- 国内外ともに主要原料相場下落により減収、採算面はチョコレート用油脂がココアバター相場下落の影響を受け採算が悪化したことなどにより減益。
- 国内市場ではヤシ油・パーム油・調合油の採算維持に努めたが、チョコレート用油脂が苦戦し減益。
- 海外市場ではチョコレート用油脂の販売数量の減少に加え、採算悪化により減益。



4

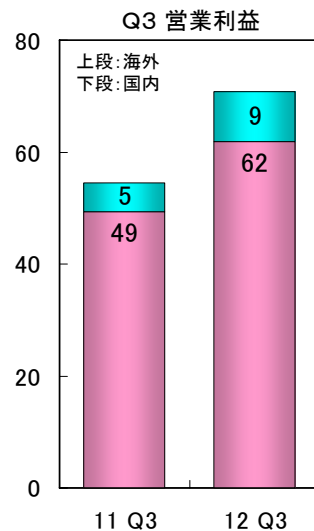
1-(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

(単位:億円)

	11年度 Q3	12年度 Q3	対前期	
			増減額	増減率
売上高	767	791	+24	+3.1%
営業利益	55	71	+16	+29.9%

【業績サマリー】

- 国内外ともに業務用チョコレート・マーガリンなどが好調に推移し増収・増益。
- 国内市場では業務用チョコレート、マーガリン・フィリングが好調に推移し増収・増益。
- 東南アジア・中国市場での業務用チョコレート・クリーム・マーガリン・ショートニングが好調に推移し増収・増益。



5

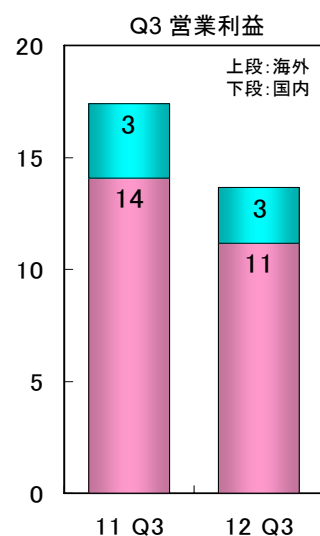
1-(4) 連結 大豆たん白部門損益

(単位:億円)

	11年度 Q3	12年度 Q3	対前期	
			増減額	増減率
売上高	278	283	+4	+1.6%
営業利益	17	14	▲4	▲21.4%

【業績サマリー】

- 大豆たん白素材は水産市場向けが増加するも、健康食品・発酵培地用途が減少し減収。
- 大豆たん白機能剤は発酵培地用途が増加し増収。
- 大豆たん白食品は弁当給食市場向け及び海外が増加し増収。



6

1－(5) 連結 地域別損益

(単位:億円)

		11年度 第3四半期	12年度 第3四半期	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	1,268	1,245	▲24	▲1.9%
	アジア	279	287	+8	+2.8%
	欧米	259	220	▲39	▲15.2%
	合計	1,806	1,751	▲55	▲3.1%
営業利益	日本	83	92	+8	+9.7%
	アジア	11	17	+5	+45.7%
	欧米	7	4	▲3	▲40.5%
	消去	2	▲2	▲3	—
合計		103	111	+7	+7.1%

日 本:原料価格下落により減収となるも、製菓・製パン素材部門が好調に推移し増益。

アジア:油脂部門の不振を、製菓・製パン素材部門がカバーし増収増益。

欧 米:チョコレート用油脂の採算悪化などにより減収減益。

7

1－(6) 連結 四半期別営業利益推移

(単位:億円)

	第1Q (3カ月)	対前年 同期	第2Q (3カ月)	対前年 同期	第3Q (3カ月)	対前年 同期	第3Q 累計	対前年 同期
油脂	6	▲8	7	+0	14	+3	26	▲5
製菓・製パン素材	19	+1	17	+7	35	+9	71	+16
大豆たん白	5	▲2	3	▲1	6	▲1	14	▲4
合計	30	▲9	27	+6	55	+11	111	+7

	第1Q (3カ月)	対前年 同期	第2Q (3カ月)	対前年 同期	第3Q (3カ月)	対前年 同期	第3Q 累計	対前年 同期
日本	26	▲2	21	+5	44	+6	92	+8
アジア	4	▲1	5	+2	8	+4	17	+5
欧米	0	▲4	1	▲1	3	+2	4	▲3
消去	▲1	▲2	▲0	▲0	▲0	▲1	▲2	▲3
合計	30	▲9	27	+6	55	+11	111	+7

8

1-(7) 連結 貸借対照表

(単位: 億円)

	11年度末	12年度 Q3末	対前期末	
流動資産	979	1,014	+35	流動資産の増加 ・売上債権の増加 65億円 ・現金及び預金の減少 ▲21億円
固定資産	859	849	▲11	固定資産の減少 ・有形固定資産の減少 ▲13億円 設備投資 50億円 減価償却費 ▲60億円 除売却・減損 ▲4億円 円高換算等 0億円 ・無形固定資産の減少 ▲0億円 ・投資その他資産の増加 3億円
資産合計	1,839	1,863	+24	
有利子負債	377	359	▲18	有利子負債の増加 ・単体 ▲24億円 ・グループ会社 6億円
その他負債	367	357	▲10	
負債合計	744	717	▲27	
純資産合計	1,095	1,146	+52	純資産の増加 ・利益剰余金の増加 45億円 当期純利益 66億円 配当金 ▲21億円 ・その他包括利益累計額の増加 5億円 ・少数株主持分の増加 1億円

9

1-(8) 連結 キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	11年度 Q3	12年度 Q3	対前期
税引前四半期純利益	100	106	+6
減価償却費	66	63	▲3
他増減	▲120	▲98	+22
営業キャッシュ・フロー	46	71	+25
投資キャッシュ・フロー	▲49	▲50	▲2
フリー・キャッシュ・フロー	▲3	21	+24
借入金等による調達・返済	46	▲19	▲65
配当支払・自己株取得等	▲21	▲22	▲1
財務キャッシュ・フロー	24	▲42	▲66
現金及び現金同等物増減	換算差額含む 19	換算差額含む ▲21	▲41
新規連結・連結除外に伴う増減	▲0	+1	+1
現金及び現金同等物残高	88	102	+14

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

10

1-(9) 連結指標

(単位:億円)

	09通期	10Q3	10通期	11Q3	11通期	12Q3
設備投資額	78	50	76	46	62	50
減価償却費	92	66	88	63	84	60
有利子負債	446	462	397	436	377	359
純資産(少持除く)	942	974	983	1,009	1,036	1,087
1株当たり純資産	1,096円	1,133円	1,144円	1,174円	1,205円	1,264円
総資産	1,743	1,802	1,744	1,828	1,839	1,863
自己資本比率	54.0%	54.0%	56.4%	55.2%	56.4%	58.3%
D/Eレシオ	0.47	0.47	0.40	0.43	0.36	0.33
ROE	12.0%	12.0%	10.2%	8.8%	8.2%	8.3%
ROA	10.0%	10.0%	9.3%	7.6%	7.3%	7.8%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。
・純資産は少数株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。
・D/Eレシオ＝有利子負債÷純資産(少数株主持分除く)
・ROE＝当期純利益÷純資産(少数株主持分除く)【Q3指標は、年換算しています。】
・ROA＝経常利益÷総資産【Q3指標は、年換算しています。】

11

2-(1) 連結通期予想

(単位:億円)

	11Q3 実績	12Q3 実績	対前年 同期	進捗率	11通期 実績	12通期 予想	対前年 同期	対前回 予想
売上高	1,806	1,751	▲55	74.0%	2,366	2,366	+0	▲119
営業利益	103	111	+7	78.6%	130	141	+11	▲14
経常利益	102	109	+7	78.1%	130	139	+9	▲11
四半期(当期)純利益	66	66	+0	78.5%	83	84	+1	▲9

(注)・平成24年5月8日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、平成25年2月7日公表の「平成25年3月期第3四半期決算短信」にて修正を行っております。
・進捗率＝12Q3実績÷12通期予想

12

2-（2） 連結 セグメント別通期予想

（単位：億円）

		11Q3 実績	12Q3 実績	対前年 同期	進捗率	11通期 実績	12通期 予想	対前年 同期	対前回 予想
売上高	油脂	761	678	▲83	73.4%	992	924	▲68	▲123
	製菓・製パン素材	767	791	+24	74.0%	1,007	1,068	+61	+9
	大豆たん白	278	283	+4	75.6%	366	374	+8	▲5
	合計	1,806	1,751	▲55	74.0%	2,366	2,366	+0	▲119
営業利益	油脂	32	26	▲5	85.2%	39	31	▲8	▲9
	製菓・製パン素材	55	71	+16	75.3%	70	94	+24	+3
	大豆たん白	17	14	▲4	85.4%	20	16	▲4	▲8
	合計	103	111	+7	78.6%	130	141	+11	▲14

（注）・平成24年5月8日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、平成25年2月7日公表の「平成25年3月期第3四半期決算短信」にて修正を行っております。
・進捗率＝12Q3実績÷12通期予想

13

2-（3） 連結 地域別通期予想

（単位：億円）

		11Q3 実績	12Q3 実績	対前年 同期	進捗率	11通期 実績	12通期 予想	対前年 同期	対前回 予想
売上高	日本	1,268	1,245	▲24	74.9%	1,650	1,662	+13	▲41
	アジア	279	287	+8	71.0%	374	404	+30	▲40
	欧米	259	220	▲39	73.4%	342	299	▲43	▲39
	合計	1,806	1,751	▲55	74.0%	2,366	2,366	+0	▲119
営業利益	日本	83	92	+8	78.4%	109	117	+8	▲6
	アジア	11	17	+5	73.2%	15	23	+8	▲5
	欧米	7	4	▲3	136.3%	6	3	▲3	▲1
	消去	2	▲2	▲3	93.9%	1	▲2	▲2	▲1
	合計	103	111	+7	78.6%	130	141	+11	▲14

（注）・平成24年5月8日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、平成25年2月7日公表の「平成25年3月期第3四半期決算短信」にて修正を行っております。
・進捗率＝12Q3実績÷12通期予想

14

3 単体 第3四半期業績・通期予想

(単位:億円)

	11Q3 実績	12Q3 実績	対前年 同期	進捗率	11通期 実績	12通期 予想	対前年 同期	対前回 予想
売上高	1,092	1,033	▲59	74.1%	1,426	1,395	▲31	▲95
営業利益	75	84	+9	76.6%	100	110	+10	▲6
経常利益	76	86	+10	75.7%	103	113	+10	▲4
四半期(当期)純利益	44	52	+8	70.5%	64	74	+10	—

(注)・平成24年5月8日公表の前回業績予想は最近の業績動向を踏まえ、平成25年2月7日公表の「平成25年3月期第3四半期決算短信」にて修正を行っております。
・進捗率＝12Q3実績÷12通期予想

15